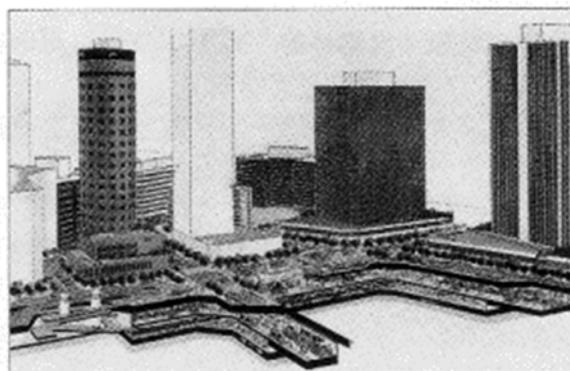


ダイヤモンド地下街

施設管理者 : 大阪市街地開発株式会社
施設所在地 : 大阪市
調査見学時期 : 平成 4 年 10 月 21 日
施設概要

大阪市が現在整備中の「ダイヤモンド地下街」を視察した。当地区は JR 大阪駅南側の業務商業集積地区に位置し、平成 7 年開業予定の片福連絡線桜橋駅と既存の 6 駅との連絡及び公共地下駐車場の整備を目的として事業が進められている。計 40,500 m²の地下街である。地下 1 階には「公共地下歩道」「地下街」、地下 2 階には「公共地下駐車場」が計画されている。「公共地下歩道」は大阪市の街路事業であり、周辺のビルにも接続され、地下交通ネットワークの充実を図っている。「地下街」は大阪市街地開発(株)が複合空間基盤整備事業の補助を受けながら整備を進めており、完成後は民間企業（大丸、阪神百貨店、阪神電鉄が出資した新会社）へ一括賃貸し、高度な情報が集積するアメニティ空間となる予定である。「公共地下駐車場」は大阪市が整備を進めており、計 425 台（付置義務駐車場 85 台を含む）の駐車スペースが確保されることになる。防災面では、8 つにブロック分けされた防災計画、計 11 箇所の地下広場、大規模アトリウムの設置などの対策が盛り込まれている。また防災センターを活用し、文化・ファッションまで含めた情報発信や駐車場管理、情報案内サービスなどを実施する予定である。なお大阪市では、地下利用ガイドプラント作成中であり、その中で地下利用の方向や計画的に整備する地区等を明確にしていくとのことであった。説明を伺った後、建設中の現地を視察させて頂き、地上では想像できないほどの地下空間の広がりや業務商業集積地区での施工の困難さを感じた次第である。

（GEC ニュース第 40 号より抜粋）



大阪駅前ダイヤモンド地下街